

各常任委員会に付託された主な案件について、審査した内容を掲載しています  
結果については、9ページへ



# 委員会レポート



予算常任委員会 総務環境常任委員会 文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会

## 予算常任委員会

予算常任委員会

◎宮田 竜二 ○竹下 智行 植山 太介 今吉 直樹 前田 幸一 山口 仁美  
久保 史睦 徳田 修和 阿多 己清 下深迫孝二 宮内 博 ◎委員長 ○副委員長

予算常任委員会では、3件の議案を審査しました。

### 注目! 令和7年度から子ども医療費無償化へ

子ども医療費助成制度の拡充に伴うシステム改修および  
受給者証発行に要する経費373万7千円を計上

令和7年度から所得制限なしで中学生まで窓口無償化を導入の方向で準備を進めている。  
これまで中学校卒業までは2,000円だったが費用負担なしで調整を進めている。

### 体育館に移動式観覧席を整備

プロスポーツ観戦の場の提供と迫力あるプレーを間近で観戦できるよう仮設のアルミ製折り  
畳み観覧席などの整備を行う。



久保 史睦 議員

**Q** 令和6年度の当初予算ではなく、なぜ補正予算で計上されたのか。

**A** ソニーのハンドボール課から、新リーグが9月から始まるので市民全体での応援を  
支援の要請があった。新リーグ参加基準はホームのアリーナが1,000人以上の規模が参加  
条件となっている。楠志田体育館の2階の516席では不足するため、総合的に判断し今回補  
正予算を計上した。

### 郵便料金改定に伴う追加予算

令和6年10月から郵便料金が改定されるに伴い通信運搬費の不足が見込まれることから  
所要の額を追加計上する。



竹下 智行 議員

**Q** 今回の郵便料金の改定により、支出が  
大きくなるが、今後の発送等につい  
て、庁内で抑えていく努力や協議がさ  
れているのか。

**A** 令和5年度から経常経費の削減方針を  
全庁的に通知している。その中でメー  
ルの活用や、割引料金が適用されるよ  
う細かく仕分けを行い郵便物を発送し  
経費を抑えている。

今吉 直樹 議員

通信費の増額は理解する。郵便物を減らさないといけないという認識は分かるが、  
市民サービスが低下するようなことは控えたほうがいい。郵便の必要性をしっかりと  
その種類ごとに把握した上で対応していただきたい。



委員間討議

## 議会について思うこと

わかりやすく、端的  
に伝えてもらわない  
と伝わりにくい。

夏祭りやフェスで、市議会の  
ブースを出して、気軽に喋れる  
といいな。

議会の場所って  
どこ?

政治はどのようなこと  
が生活につながるのか  
わからない。



生徒会などの代表の声だけ  
聴くのではなく、広くアンケ  
ートなどで等身大の意見を聴  
いてほしい。

## どうすればもっと子ども・若者の声を集められるかな?

小学生  
には...

アンケートなどは、思いをまとめる  
のがまだ難しいと思う。子どもの中  
に実際に飛び込むのが一番。一緒に  
遊んだりして過ごす中で、素直な本  
音が出てくると思う。

学生・  
若者  
には...

困ることがほとんどない。必要が  
あれば自分たちで、SNS などを使っ  
て情報収集できる。結婚・子育て  
が始まると、いろいろ関心が出て  
くると思う。

中学・  
高校生  
には...

学校を通したアンケート。中学生は真面目なので、学校を通せばみんな回答すると思う。  
高校の生徒総会では電子投票を行った。高校生はスマホの所持率が高い。うまく活用してほ  
しい。

## 取材を通して、 今後の議会に活かすこと

子ども・若者自身が幸せな今を生き、成長していくために  
は、議会として声なき声に寄り添い、対話を重ねながら市政に  
反映させていく必要があります。取材を終えた特集班の振り返  
り対話の内容をご紹介します。

「足下を掘れ、そこに泉あ  
り」とは哲学者ニーチェの言  
葉です。身近すぎて気づけな  
いこと。これからの未来を担  
う世代の大切なご意見。夢と  
希望溢れる霧島市の未来ビ  
ジョンに反映できるよう議会  
の責任を果たしていきます。

(久保 史睦)

霧島市の若者は、個々に独  
自の考えを持っていて、それ  
を自分の言葉で発言できるこ  
とが素晴らしいと感じまし  
た。若者を含め、いかにして  
全ての世代の市民が幸せに暮  
らしていけるまちづくりをし  
ていくのか、若者が市政に参  
画するしくみづくりを議会は  
考えていく必要があると思  
います。

(宮田 竜二)

これからの社会を担う若  
者・子どもたちの意見を聴  
く機会が少なかったことを  
痛感しました。多様性を認  
める社会になって、さらに  
多様な方々からの視点を大  
事にし、議会は判断してい  
かなければなりません。ま  
ずは、聴くこと！大事にし  
ていきたいと思えます。

(野村 和人)

若者が地域や政治に安心  
して関わることができる環  
境を整えることは、私たち  
議員の重要な使命です。等  
身大の彼らの声を聴きなが  
ら、未来の地域の活性化に  
向けて、一緒に取り組む議  
会を作っていきたいと思  
います。

(山口 仁美)